

- 下記の設定を有効にしない場合、下記設定に関連するEDRの機能がご利用できません。
⇒WebレピュテーションとURLフィルタリングのHTTPS通信検知ログを元とした注意が必要なイベントが発生しなくなります。

- ①管理コンソールへログイン後、
「ポリシー」-「グローバルセキュリティエージェント設定」-「セキュリティ設定」タブにて下記を設定

「HTTPS Web評価」の項目から

[Chrome、FirefoxおよびMicrosoft EdgeでWebレピュテーションとURLフィルタリングのHTTPS確認を有効にする] をオン
(チェックを入れた状態)

- ②保存をクリック

The screenshot shows the 'Global Security Agent Settings' page in the Microsoft Defender for Endpoint console. The left sidebar contains navigation icons, with the 'Settings' icon highlighted. The main content area is divided into sections: 'Compression file search limits', 'Compression file virus removal', 'OLE objects', 'Endpoint Windows shortcuts menu manual search', 'Spyware and grayware search', 'Behavioral monitoring', and 'HTTPS Web evaluation'. The 'HTTPS Web evaluation' section is highlighted with a red box, showing the checkbox 'Chrome, Firefox and Microsoft Edge with Web Reputation and URL Filtering HTTPS check enabled' checked. Below this checkbox is a note: '注意: この機能を使用するには、管理者がポリシー管理で不正変更防止サービスを有効にする必要があります。' Another checkbox '機能アップデートによりChromeまたはFirefoxの再起動が必要になった場合、セキュリティエージェントで、アイコンの上部に通知を表示する' is also checked. At the bottom of the page, the '保存' (Save) button is highlighted with a red box.

対象者：② [WebレピュテーションおよびURLフィルタのログをサーバに送信する] がオフのユーザ

- 下記の設定を有効にしない場合、下記設定に関連するEDRの機能がご利用できません。
⇒ VBBSS検知ログを元とした注意が必要なイベントが発生しなくなります。

①管理コンソールへログイン後、
「ポリシー」-「グローバルセキュリティエージェント設定」-「エージェントコントロール」タブにて下記を設定
[WebレピュテーションおよびURLフィルタのログをサーバに送信する]：オン（チェックを入れた状態）

②保存をクリック

ダッシュボード
セキュリティエ...
ユーザ
ポリシー
レポート
ログ
管理

ポリシー設定
追加の設定
グローバルセキュリティエ...
エージェント設定
グローバル除外リスト
ポリシーリソース
アプリケーションコントロ...
ールルール

グローバルセキュリティエージェント設定

グローバル設定はサポートされるすべてのセキュリティエージェントに適用されます。

セキュリティ設定 エージェントコントロール

警告

7 日経過してもウイルスパターンファイルがアップデートされていない場合、Windowsタスクバーに警告アイコンを表示する

セキュリティエージェントのログ

WebレピュテーションおよびURLフィルタのログをサーバに送信する
 脅威イベントの詳細を強化型脅威分析のためにサーバに送信する

監視サービス

セキュリティエージェントの監視サービスを有効にする：
セキュリティエージェントのステータスを 1 分間隔で確認
セキュリティエージェントを再起動できない場合、5 回まで再試行

管理者への問い合わせの通知

セキュリティエージェントに管理者への問い合わせ情報を表示する

アンインストール

保存

- 下記の設定を有効にしない場合、下記設定に関連するEDRの機能がご利用できません。
⇒ VBBSS検知ログを元とした注意が必要なイベントが発生しなくなります。

①管理コンソールへログイン後、
「ポリシー」-「グローバルセキュリティエージェント設定」-「エージェントコントロール」タブにて下記を設定
[脅威イベントの詳細を強化型脅威分析のためにサーバに送信する]：オン（チェックを入れた状態）

②保存をクリック

The screenshot displays the 'Global Security Agent Settings' page. The left sidebar shows the 'Policy' menu item selected. The main content area is divided into sections: 'Global Security Agent Settings', 'Warning', 'Security Agent Log', 'Monitoring Service', and 'Notification to Administrator'. The 'Agent Control' tab is active, and the checkbox for 'Send details of threat events to the server for enhanced threat analysis' is checked. The 'Save' button is located at the bottom of the page.

対象者：④[webレピュテーション] がオフのユーザ

- 下記の設定を有効にしない場合、下記設定に関連するEDRの機能がご利用できません。
⇒Webレピュテーション検知を元とした、注意が必要なイベントが発生しなくなります。

①管理コンソールへログイン後、
「セキュリティエージェント」-「開通時初期設定」※-「ポリシーの設定」-対象のOSを選択し、
「webレピュテーション」タブにて下記を設定
[webレピュテーション] をオン

②保存をクリック

使用しているOSを
ご指定ください



※「開通時初期設定」とは、お申込み時に申請いただいた内容の設定情報を反映させたポリシーグループになります。新たなポリシーを作成している際は、作成したポリシーグループをご指定ください。